

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.23 平成27年2月19日発行
発行責任者:高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org

メールは
こちら



第26回定期大会

2月14日、第26回定期大会。たくさんの代議員の方と、組合づくりを本音で語り合えた一日になりました。組合づくりの歩みを確かめ合い、これからの運動への道しるべとなった大会を紙面で振り返ります。

みんなの声を財産に

組合づくりを進めよう！

「すぐく良い学校です」 大事なのはなぜ、その環境があるのか

豊富支部からは、学校づくりと分会活動の関係についての発言がありました。宗谷で良く聞く「うちの学校はいい学校です」という言葉。そうした環境がどのように創られてきて今があるのかを考えることの必要性。また、分会会議をする際には「みんなに何か話してもらおう。プ

スアルファの学びができる工夫をする」などの意識を大切にしていることを語ってくれました。また、春の異動をきっかけに組合に加入された先生からの発言もありました。「自分から動かなければ、仲間づくりも職場づくりも広まらない」という言葉がとても印象的でした。

定期大会で新執行部発足

宗谷教組規約に即して、本部役員と、執行委員・会計監査の選挙を行い、それぞれ以下のように決定しました。

委員長	高 一伸
副委員長	古川 正史・遠藤 玄
書記長	内藤 修司
書記次長	山本 民
会計委員	山本 唯・田村 匡
執行委員	長畑幸太郎・吉田 孝幸
会計監査	高橋 正一・伊藤 千里

※本部書記次長に欠員が生じています。次期中央委員会で補欠選挙を行います。
※女性部・養教部選出の執行委員についても、次期中央委員会で補欠選挙を行います。

職場の中で声を掛け、掛けられ... そういう人って組合員なんです。

稚内支部の発言は、昔と今の組合づくりのお話からはじまりました。「昔、委員長と一緒に学校で働いたことがある。『この人たちががんばっているんだから集まりに行こう。委員長がいる分会の参加が少ないなんて申し訳ない』と思っていた」と昔の話をしてくれました。

今は、保護者との対応も厳しさがあつたり、そういう中で日々過ごしていると「組合どころじゃないってなってしまう」との現実も。そうした中で、職

場で声をかけてくれたり、調整役をかってでているのは組合員の先生だったりするという職場づくりのひと場面もお話してくれました。

稚内支部で秋に行った全分会訪問を行いました。お互いの労いや、職場を語る取り組みになったそうです。宗谷教組に占める稚内支部の役割は歴史的に大きいものです。こうした気遣いと心配り、義理と人情で活動を豊かにしていきたいと考えさせられる発言でした。

「宗谷教組の活動は 職場で見えていてわかります」

組織拡大の際に、「組合のことを知って、加入してほしい」と語った経験を語ってくれた発言がありました。最近「組合に入ってほしい」と勇気を出して語っても、その場で「わかりました」とはなかなかならないことが多いです。そうした中で、「宗谷教組の活動は職場で見えてわかっています」というこ

とを話してくれた方がいたといえます。組合がどんな考え方をしているか、どんな風を集めているか、私たち組合員がまず大切にしていきたい視点を、見てくれる方がいるということ。とても頼もしいです。「組合っていいな」ということをみんなまで広めていきたいと感じた発言でした。

組合の運動づくりをみんなで意識しよう！

これからの数年間というのは、私たち教職員を取り巻く様々なモノやコトが大きな変化をする時代なのかもしれません。教職員の定数や加配の状況が変わり、学習指導要領改訂と道徳の「教科化」の動きが進むだけでなく、宗谷管内では管理職の生み出しに伴う職場や組合を構成する世代の交代が予想されます。

こうした中で、私たちが大切にしている民主的学校づくりの考え方をこの先の未来につなげるための取り組みが必要です。そして、それは宗谷教組の組織強化・組織拡大が大きな役割を持つていくということは、おもて面で紹介した定期大会の発言にも表れています。

宗谷教職員組合では、これから3年間を「宗谷教組の運動づくりを豊かにする3年間」と定め、組合づくりをみんなで考えていきたいと思えます。大切なのは、一人ひとりの組合員のみなさんのそばで活動を興すということです。そこで大切なのは分会・支部、本部や専門部がそれぞれ力を発揮することです。みんなで組合づくりをすすめてみましょう。

活動を興す、創る取り組みは…

分会…分会長だけががんばらなくて良い工夫づくりを。みんなで分会を動かそう。

支部…街や各分会の実情を激励する気遣いと心配り。組合全体の方針に独自性を加えた取り組みを。

本部や専門部…専門性を発揮した社会情勢・教育課題を読み解く力を発揮しよう。

組織拡大、仲間づくりを進めよう

分会・支部…「あなたに入ってほしい」という声かけをこれまで以上に進めよう。

本部・専門部…分会や支部の声かけを激励・後押しできる取り組みを進めよう。

宗谷教組として大切にしていきたい考え方

①分会活動に集おう！

複数体制による運営、係をつくる、計画づくりなど創意工夫を。

②組織拡大！

組織率にとられない、組合員数を増やす取り組みを広げよう

③魅力的な組合づくりを進めよう！

「組合っていいな」をたくさんの方の元に

④「声かけてくれるのを待ってました」と声に自信と確信を。

新卒はもちろん、過年度の先生にも継続的に運動を伝えよう。

⑤自分たちで組織する経験をもとに、運動をたくたくましく！

分会・支部による創造的な運動をつくろう。広げよう。

⑥青年部・臨教部の活動をみんなで激励しよう！

継続的に集まる経験を運動に発展させよう。

⑦助け合い・励まし合いの運動を広げよう！

全教共済の良さを語り、加入する仲間を増やそう。

今後の数年間で変化が起こる教育情勢など

宗谷の教育

- ◆管内教職員の世代交代が進む
- ◆へき地級地改訂がそろそろ？

道・国段階での教育改革

- ◆学校統廃合の手引き改正
- ◆教職員の定数減が進む

2020年学習指導要領改訂

- ◆2017年周知、18・19年移行措置？
→各学校で「教育課程づくり」が進む。
- ◆2018年「道徳の教科化」

学校づくり・教育課程づくりの力が試される。

組合づくり

- ◆組合役員の生み出し、交代の必要性
- ◆「組合に入らない」という選択が増えていく
- ◆計画的・系統的に集い、学び合う場づくり

分会活動

- ・「いそがしい」に負けない分会会議の開催を
- ・計画的な活動を創ろう
- ・分会長を激励する集まりを組織しよう

本部・専門部

専門性を発揮する活動を発信

支部活動

- ・支部代表者会議での議論をもとにした創造的な活動を組織しよう！
- ・分会とともに、宗谷管内や道教組との連携を強めよう！

組織強化の取り組み

教育講座運動

- 「教育実践」を学ぶという営みを組合がどう創るか。
- ・民間教育団体との連携
- ・連続教育講座の挑戦

教育課程づくりの運動

- 組合としてできる「大事だ」と思える取り組みを
- ・これまでの「教育課程づくり」の運動の整理や総括
- ・2020年に向かう運動の組織化

運動の歴史と財産から学ぶ

宗谷の教職員組合運動の歴史から学び、私たちが未来へバトンを渡す！

- ・職場づくりを積極的に進める立場として
- ・かかわり、つながりを創る立場として
- ・歴史を学び、財産を今に生かそう！

組合をみんなのもとに！

これからを担う世代がつながり、一緒に運動を創ろう♡

- ・センたま
- ・青年部・若者の集い、飛び出せ道外
- ・会館カフェの取り組み

組合加入の声かけ

- ・一度断られてもあきらめない
- ・本部も積極的に関わる

新卒総対話&ウェルカムキャンペーン

- ・春のウキウキ情宣物
- ・組織化するための運動

組合を広く語ろう

- ・運動を広める視点で
- ・悩みをきちんと語れること
- ・運動づくりとの観点で

組織拡大で大事にしたい視点

民主的學校づくり 職場づくりとの関連

宗谷の四季

組合にとって年に一度の大きな節目、定期大会が終わりました。今年の大会は、町村支部からたくさんの方が駆けつけてくれました。集約等が組織的に行われたことが実ったのだと思います。稚内支部からも当日の都合をつけて駆けつけてくれる先生がたくさんいました。

今年の大会の発言を聞いていて、「口頭感していることを生の言葉で伝えたい」というものが多くあったように思います。組合のことを語ろうとするとなんとなく難しくなってしまうがちです。そこではなくて、ひとりひとりがこの組合、宗谷教職員組合の運動について自分の言葉で語ることができるといいのは、宗谷教組の運動を進める上でとても大切なことです。こうしたことに関わることができるとても大切な1日になりました。

大会では、組合の現状について財政面や組織拡大の観点からも交流をしました。宗谷教組という集まりを今後、より良く発展させていく方法を、本部や支部だけでなく、一人ひとりが考えていくことが重要です。「上記の三か年計画」を意識した取り組みを進めましょう。

本部執行部の体制も新しくなります。管内のあちこちから奮闘する本部のメンバーが、集ったときにはぎゅっつ語り合い、みんなで一致点を見つけていけるよう力合わせを進めます。そうして、組合員への力が豊かになる1年になることを願っています。